

自分の老後は自分で守る！確定拠出年金のお知らせ



今、話題の「確定拠出年金」って、正直言ってどうなの？
皆さんの疑問・不安を、アイマーク伊藤が検証します！

検証 1 節税効果は？

払う税金が少なくなるって聞いたけど、どうなの？

毎月積み立てる掛金の全額が、所得控除！つまり、月2万円×12カ月↓24万円積み立てると、24万円が課税所得からマイナスされます。

節税効果は、所得税5%※、住民税10%とすると…
所得税で12,000円、住民税で24,000円が、毎年減ることになります！

生命保険料控除も、「こ」までの節税パワーはありません。

（※所得の多い人は、税率は10%、20%、30%と上がっていくので、節税効果も高くなります）

検証 2 運用するのが不安

運用するって聞いたけど、難しそう…

掛け金を自分の責任で60歳まで運用するのが、確定拠出年金。

今まで、国任せだったこの運用部分を、国に頼らず自分の責任で行う制度です。しかも、運用中に出る運用益は、非課税！銀行に預けて、やつとついた利息から、利子税が20%取られて寂しい気持ちになつた方も多いのではないのでしょうか？普通の金融商品では必ず徴収される税金がかららないんです。

どんな金融商品があるんだろうと調べてみると、会社によって細かいラインナップは異なるものの、ほぼ同じ感じ。元本保証型（定期預金、保険）、投資信託（国内株式、外国株式、国内債券、外国債券）では、大事な掛け金をどこに掛けたいのか…

確定拠出年金は、他の金融商品と異なり、運用時の利益には課税されないの、利息0・01%の定期預金などの元本保証型商品に掛けたら、もったいない。私ならリスクを取って積極的に投資したいと思います。

検証 3 受け取る時は？

受け取りは何歳？
受け取り方はどうなるの？

受け取りは、60歳になってから。それまでは、失業しても、病気になっても、解約することが出来ません。（死亡、高度障害の時は支払われます）

かなり厳しい！保険なら、生活の変化に応じて途中で解約して、貯まったお金を使うこともできますが、確定拠出年金は出来ません。でも、老後のための資金だから、つい手を出したくても出せないお金というのも、メリットなのかもしれません。60歳まで使えないお金。途中で困った…ということにならないように、はじめる時は掛金をいくら出すことができるかを、しっかりシミュレーションすることを、おすすめします。

受け取りは60歳になってから。70歳まで運用を続け、70歳で受け取ることも可能です。

受け取り方は、まとめて受け取る一時金と、数年に分けて受け取る年金の2種類。節税メリットが大きいのは、一時金です。「退職所得控除」の対象になり、積み立てた年数が長いほど控除額が大きくなるので早くはじめる方がお得です。

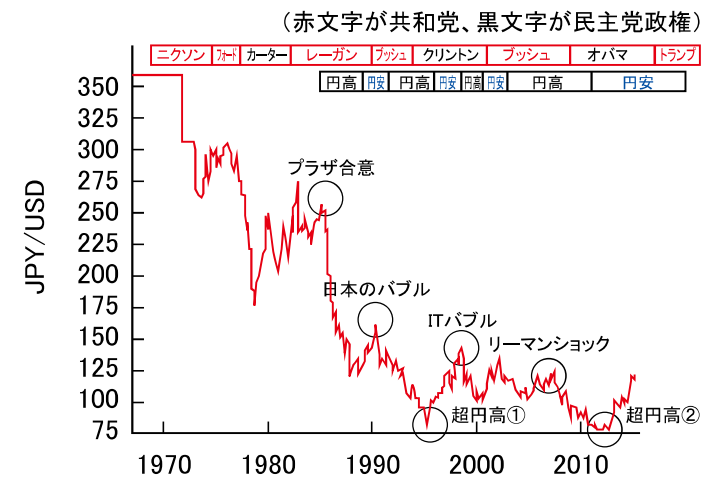
まとめ

- ・節税効果が半端ない！国の本気度がスゴイ！
- ・他の金融商品と比べ物にならないほどのメリット。
- ・強制的に引落とされて、60歳まで使えないのが厳しい。
- ・掛金額は、家計やライフイベントと相談して慎重に。

投資』をお客様にご案内し続けてきました。株価や為替に一喜一憂せず、ただひたすら、『ウォール街のランダムウォーカー』（パートン・マルキール）、『敗者のゲーム』（チャールズ・エリス）、『株式投資の未来』（ジェレミー・シーゲル）などの長期投資のバイブルが提唱する、先進国の株価（一部の本では、その中でも生活必需品関連銘柄）に連動する投資信託を買って持ち続けることに焦点を当て続けていきます。

『TPPに反対』、『地球温暖化は学者のでっちあげ』、『メキシコとの国境に壁を』、『イスラム教徒は追放』。彼の過激なフレーズばかりに焦点が当たりますが、その裏で、大規模な減税、インフラ投資など、経済対策も目白押しです。実業家としての経験を生かして、過激な言動さえ控えてくれば、『トランプ景気』とでも名づけられる、歴史に残る好景気が生み出されるかもしれません。しかし、彼の過激な発言に反感を持つ人間によって、ケネディのような末路を歩む可能性も大きいのも事実。

私が、一番心配していることをお伝えしましょう。いわゆる、保護主義がアメリカに蔓延しはじめると、国内回帰へと連なり、日本国内の駐留兵をはじめ、米国系の企業が日本から撤退する流れが作られる心配があります。そんな流れだけは、食い止めて欲しいものです。



エコノ夜話

ドナルド・トランプ政権をうらなう。



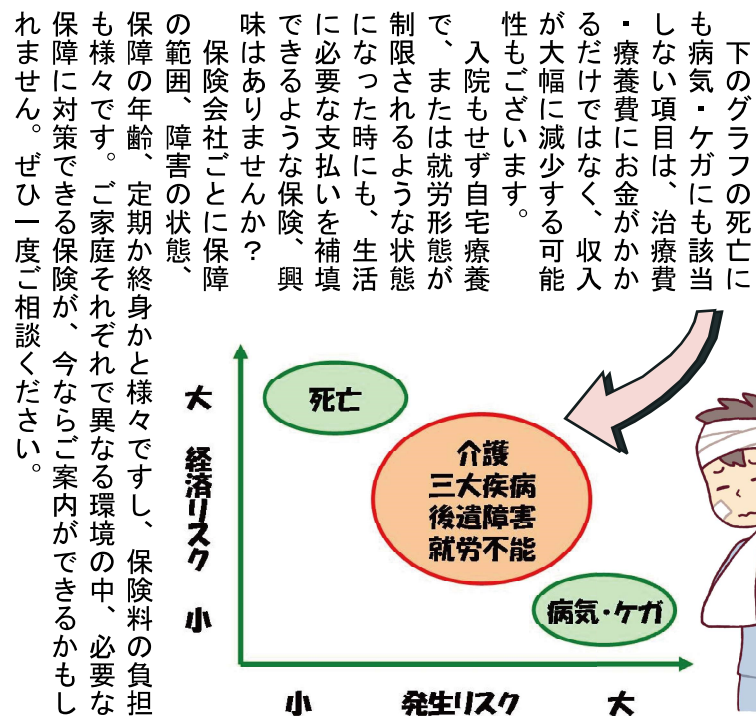
第45代アメリカ合衆国の大統領は、ドナルド・トランプさんが就任することになりました。過激な発言と大衆を魅了する話術で、泡まつ候補のポジションから、大統領にのぼりつめるという、まさにアメリカン・ドリームを実現してしまいました。大統領選挙の開票当日、私は、トランプさんが大統領に選ばれてしまったら、株価は暴落、超円高になると予想していました。開票結果は日本時間の午後1時ころ決定しました。その時間にオープンしていた、日本の株式市場は大暴落し、為替は大きく円高に振れました。ここまでは、私の予想が当たっています。しかし、当日の米国株式市場は私の予想を、ありがたいことに大きく裏切ってくれました。その後、株式相場も為替相場も、投資家に微笑みを与えてくれる結果が続いています。（平成28年12月2日現在）

トランプさんは、共和党の候補です。そこで、私は歴史を振り返り、共和党政権と株価、共和党政権と為替の両面から、何か傾向は無いものか？と分析してみました。共和党というのは、日本でいうと自由民主党に例えられるでしょう。もう一方の民主党は、日本で言ったら民進党でしょうか。企業びいきの共和党が政権を取ったら、株価は上昇する？と思って、分析を始めたら、まったくそんな傾向は無いのです。かえって、民主党政権のほうが、株価は上昇しているくらいでした。そんなわけで、共和党と株価、共和党と為替をうらなうことは、無駄なことだと判断いたしました。そもそも、私たちは『長期

病気やケガで働けなくなったとき、日々の暮らしのお金はどうするの？



近年、生命保険の分野では、死亡時以外でも保険金が支払われる保険が始めています。病気やケガで働けなくなった時、つまり仕事に從事している方が働けなくなった場合のお話です。自分が死んだ時は、生命保険があるから大丈夫という方も、就労不能の状態が続いた場合、あなたの保険ではどういった保障になっていますか？



個人型確定拠出年金とは…

今年の9月に、個人型確定拠出年金の愛称が「iDeCo（イデコ）」に決定しました。来年の平成29年1月1日より、主婦と公務員も加入できるようになります。

拠出限度額は、対象者によって異なります。

月額	自営業	サラリーマン	主婦	公務員
	68,000円	23,000円	23,000円	12,000円

iDeCoの仕組み

加入者が自ら定めた掛金額を拠出・運用。原則60歳以降に、掛金とその運用益の合計額をもとに給付額が決定し、給付を受ける制度です。

提示された運用商品から商品を選択して積立金を運用

加入者個人が拠出

運営管理機関が運用商品を提示

商品A 商品B 商品C etc...

加入者個々人が運用商品（預貯金、保険商品、投資信託等）を選択

加入 → 拠出 → 運用

原則60歳以降、加入者それぞれの「拠出額」と「運用収益」との合計額をもとに「給付額」が決定し、給付が始まります。

年金、一時金等で受け取り

確定拠出年金、家計シミュレーションのご相談もお気軽にどうぞ。